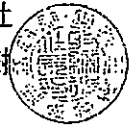




平成 19 年 11 月 12 日

厚生労働大臣
舩添 要一様

田辺三菱製薬株式会社
代表取締役社長 葉山 夏樹



フィブリノゲン製剤に係る 418 症例報告調査プロジェクトチーム
活動状況等の報告について

標題の件、弊社の「418 症例報告調査プロジェクトチーム」の活動状況等に関し、
下記のとおりご報告申し上げます。

記

1. リストと患者様の特定等に関する状況

別紙 1 のとおり

以上

1. リストと患者様の特定等に関する状況

(平成19年11月9日現在)

		症例数	ほぼ特定できた 症例数 注2)	本人へのお知らせ及び受診勧奨 を行った症例数
氏名情報	フルネーム	197	118	21
	略名又は イニシャル	170	89	27
	記載無し	51	15	2
計		418 注1)	222 注3)	50

注4)

注5)

注1) 10月22日のプロジェクトチーム発足後、418症例のリストに対応する医療機関を特定する作業を行いました。その後、10月29日から全国の医薬情報担当者がそれぞれ担当する医療機関を訪問して、厚生労働大臣の指示に基づく患者様の特定と受診勧奨のお願いをいたしております。既に廃院等になった医療機関を除く全てに1回目の訪問とお願いを完了し、その後11月9日までの間に、特定が不可能とされた症例のみの医療機関を除く各医療機関に対して2回目以降の訪問を行い、再度のお願いや医療機関でご調査いただいた結果の聴取をいたしております。本報告は、この聴取の結果を集計したものです。なお、418症例のリストに対応する全医療機関等の施設数は次のとおりです。

◆全医療機関: 243施設

◆全医療機関を訪問した結果、
開院が確認された医療機関: 223施設

注2) 「ほぼ特定できた症例数」とは、医療機関との面談により、特定できたと判断される事例です。現在、当該医療機関において、カルテなどとの照合により確定作業が行われているところであり、当該確定作業が済んだ症例から、ご本人へのお知らせが行われております。

注3) 「ほぼ特定できた症例数」のうち、直接ご本人へのお知らせが不可能な症例数は30例となっております。

注4) 今後の調査で特定の可能性があるものの、「検査や治療費用の負担の方向性が明確にならないと調査を行うことは難しい」との慎重な姿勢を採られる医療機関が5施設ありました。

注5) 医療機関において、治療中(23例)または治療済み(21例)とお聞きしている症例数の合計は44例となっております。

以上